

# バス運転中のあいさつ実は禁止事項

前方不注意で事故も発生

路線バス等の運転手が、自社の車両とすれ違  
う際、手を上げてあいさつ…。実は、この行為  
は前方不注意の恐れがあるとして、業界団体が  
長年禁止している行為だそうです。

しかし、9都府県で実施した覆面調査の結果、  
約半数の運転手で確認され、依然として横行す  
る実態に、専門家は「脇見や片手運転の原因に  
なる。国や事業者は指導を徹底するべきだ」と



警告しています。

この調査は、北九州市で発生したバスと自転  
車の死亡事故に絡み、バスやトラックが起こし  
た事故の原因を調べる事業用自動車事故調査委  
員会が実施したものです。

その結果、24事業所の計612人のうち、す  
れ違う際に挙手や会釈などをしたのは292人  
で、全体の約47・7%に達していました。

調査委では「運転の仕事は単調な面があり刺  
激を求めてあいさつしているのかもしれない。  
しかし、例えば時速40kmでも1秒間に11mも車  
は進む、2、3秒でも脇見運転は命取りだ」と  
注意を呼びかけています。

知った顔や自分と関係がある相手の車と知ら  
ん顔ですれ違うのは失礼と思われるがちなよう  
ですれ違い時のあいさつはバスに限らず、同業者  
のトラックや車両間でも多く見られます。

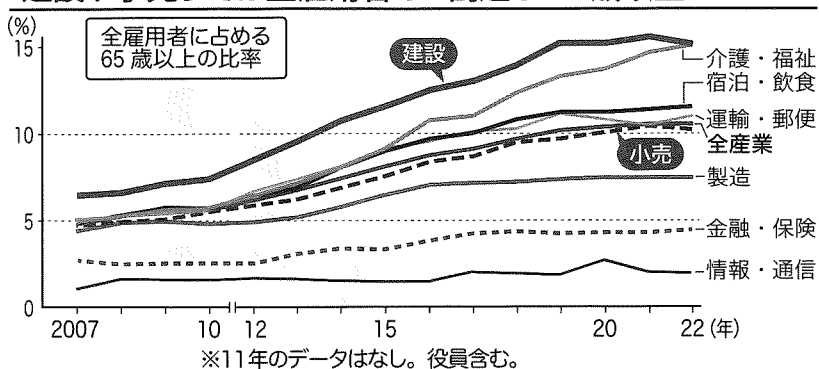
「車のすれ違い時は危険が潜在」を心掛け、運  
転中のあいさつは控えて、車を降りてから十分  
にあいさつ等を交わすことが望ましいようです。

(資料・引用「東京新聞」23・08・02ほか)

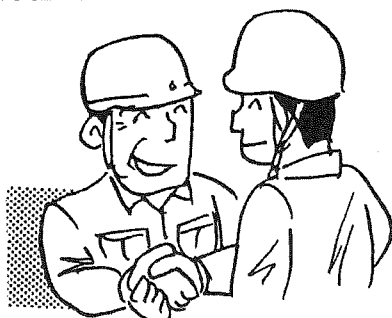
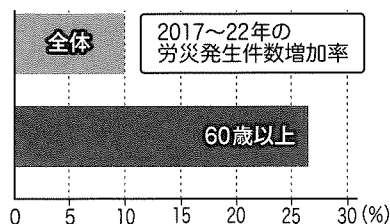
# 65歳以上のシニアの雇用が増加

## 高齢者で急増する労働災害

建設や小売りでは全雇用者の1割超が65歳以上 (総務省調べ)



60歳以上の労災は5年で3割近く増えた (厚労省調べ)



厚生労働省によると、70歳以上でも働ける制度のある企業は22年に39%に達し、12年の2倍超になっています。

13年の法改正で企業は希望する人を65歳まで雇用することが義務付けられました。企業の多くは当初、人件費の負担が増えるとして難色を

示していましたが、人手不足の深刻化で、近年ではシニアの採用を積極化しています。

企業などが雇う全ての従業員(全雇用者)のうち、65歳以上の比率は22年に10・6%(639万人)と過去最高になりました。業種別でみると特に人手不足が深刻な「建設」や「介護」は15%に達し、「運輸」も10%を超えています。

このような状況の中、目立つのが労災の急増です。60歳以上の労災(休業4日以上)の発生数は22年に約3万8千件と5年で26%増えており、増加率は全体平均の3倍です。体力や注意力の低下で若い世代なら回避できる事故も高齢者には避けられないことも多いようです。

事業の継続にシニアを雇用しても、安全に働ける職場環境がないと企業の生産性も低下しかねません。

シニア人材をさらに増やし、国力や産業競争力を維持するためにも、労働条件の改善に向けた政府と産業界一体の取り組みが待ったなしとされています。(資料・引用「日経」23・08・06)

# お笑い がんに効く!?

.....近畿大学と吉本興業、効果を検証



近畿大学と吉本興業ホールディングスの研究グループは、がん経験者の生活の質(QOL)向上に、お笑い鑑賞が効果的である可能性を医学的に明らかにしました。

日本では、2人に1人が生涯のうち1度はがんに罹患し、3人に1人ががんで亡くなるといわれていますが、検診による早期発見や医療技術・創薬の進歩によって、がんは長く付き合っていく慢性病に変化しつつあります。

一方で、がん経験者は、疼痛や疲労、神経障害、再発の心配などさまざまなストレスに脅かされていることが多く、これが体の「酸化ストレス」を高め、多くの不調につながると考えられています。

研究グループは、がん経験者に対して、笑いがよい影響を与えるのではと考え、平成29(2017)年に、笑いが「緊張・不安」、「怒り・敵意」、「疲労」を改善することを報告しました。

今回研究グループは、がん経験者50人を対象に、自宅などでお笑いのDVDを毎日15分以上4週間鑑賞してもらい、採血による酸化ストレス測定とアンケートによる心理検査を実施しました。

その結果、毎日のお笑い鑑賞に、がん経験者の生活の質と抗酸化能力、不安、うつを改善する効果があることが示され、この成果は、国際医学誌キュリアス電子版に掲載されました。

研究グループでは「本研究成果を、笑いによる、がん経験者の生活の質向上の手法確立に繋げていきたい」と笑顔で取り組んでいます。

(資料・引用「日刊工業」23・08・10ほか)

# 海外の事故・災害から

## …2023年7月…

▼南アフリカ ヨハネスブルグ 金鉱石の違法採掘に関わる小屋で有毒ガスが漏洩。死者16人以上。

▼韓国 済州 ショッピングモールで天井の石膏ボードが崩れ落ちる。ケガ人はいなかったが、20の店舗で財産被害。

▼アメリカ カリフォルニア州 濃霧に覆われる空港近くの牧草地に小型機が墜落炎上。搭乗していた6人が死亡。

▼アメリカ カリフォルニア州 公園の草の茂みで寝ていたホームレス女性が、造園業の作業員が運転する草刈機に轢かれて死亡。

▼韓国 大雨による全国的な被害。川の氾濫、土砂崩れなどで自宅からの避難者が5千5百人以上。地下車道の冠水で車両15台が水没し10人以上が死亡するなど、死者不明約50人。

▼ギリシャ ロードス島 山火が発生し、ホテルや住宅地がある海岸に燃え広がる。住民や観光客ら約2万人が避難。観光客が空港に殺到し、2千人以上が臨時便で出国。

▼エクアドル コロンビアと国境を接するエスメラルダス州の観光ビーチで石油が漏出。

▼アフガニスタン ワルダク州 大雨による鉄砲水が発生、住宅が6百棟以上損壊。

倒壊したがれきの下敷きで30人死亡、44人が行方不明。

▼中国 黒竜江省 中学校で体育館の屋根が崩落。屋上が、隣接する建物の工事用の資材置き場に使用されていた。体育館にいた19人が閉じ込められ、10人が死亡。

▼アルジェリア チュニジア 熱波の影響による山火が発生。アルジェリアで34人が死亡、約1500人が避難。チュニジアでも300人以上が避難。

▼オランダ沖 日本船籍で乗組員21人がインド人の自動車運搬船が、車両3千台超を積んで航行中に火災。船員1人死亡。

▼トルコ イスタンブール レストランで海に突き出たテラスが崩落し、客25人が海に落下し、4人が負傷。

▼アメリカ ニューヨーク 建設中の高層ビルで作業中の大型クレーンから出火し、一部が倒れて重さ16tのコンクリートとともに道路に落下。近くにいた11人が負傷。

▼オーストラリア沖 多国間軍事演習に参加していたオーストラリア軍のヘリコプターが訓練中に墜落、搭乗していた4人が行方不明。

▼タイ ナラーティワート県 爆竹などの火花を貯蔵する倉庫が爆発し、半径500m以上にわたって建物が倒壊。死者10人以上、約120人負傷。

(資料：引用「災害情報」早稲田大学理工学術院総合研究所編集発行、ほか)